



建築文化向上に貢献

神奈川建築コンクール実行委員会委員長
神奈川県土整備局建築住宅部長 吉田 貞夫

吉田 貞夫

応募作品は、いずれも熱意あふれる力作ぞろいで、住宅部門では、ライフスタイルなどを住まいに反映させようとする建築主の強い思いを、設計者と施工者が受け止め、三者が一体となつて作り上げた作品が多くみられました。その中でも制約の多い敷地条件の中で、建築家のアイデアを生かして、周辺環境との調和を図り、快適な生活空間を生み出した作品が受賞対象となっています。

神奈川建築コンクールに入賞された皆さま、おめでとうございます。
本コンクールは、神奈川県内の建築物の質の向上を図るとともに魅力あるまちづくりを推進するた

め、県と県内12市が共同して実施しているもので、今回で58回を迎えた。長年にわたり続けることができておりますのも、多くの皆さまのお力添えのたまものと感

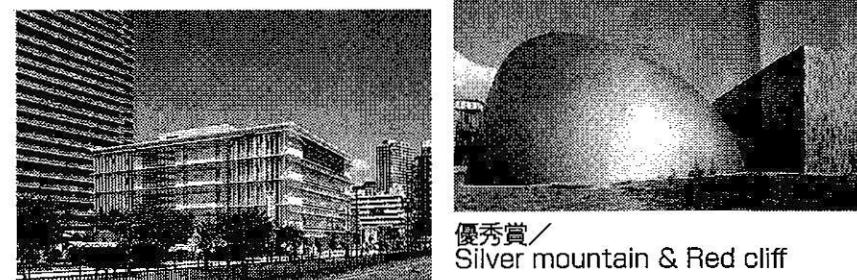
なりました。

今回は、住宅部門57件、一般建築物部門が47件、合計104件の応募がありました。特に、一般建築物が昨年に比べ3割増えており、建築業界の活気が伝わってくる年となりました。

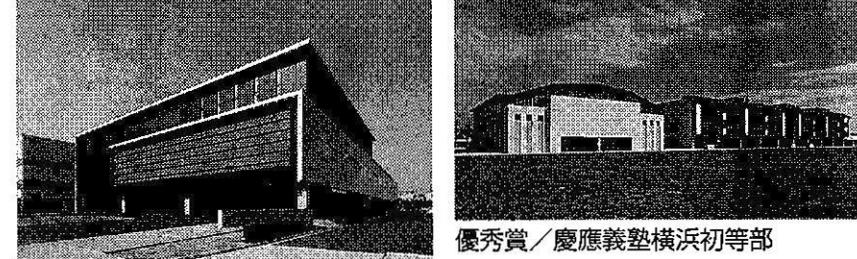
多くの見られました。また、受賞作品は大規模な開発と一体となった建築物や、公共施設、教育施設、商業施設、事務所等、多様な施設が、機能性やデザイン性を高めることで、魅力あるまちづくりの起爆剤となっているように感じられました。

これからも、建築業界に明るい光をもたらすような作品が数多く寄せられ、本コンクールが、神奈川県の建築文化・建築技術の向上と良好な市街地の形成に大きく貢献することを願っております。

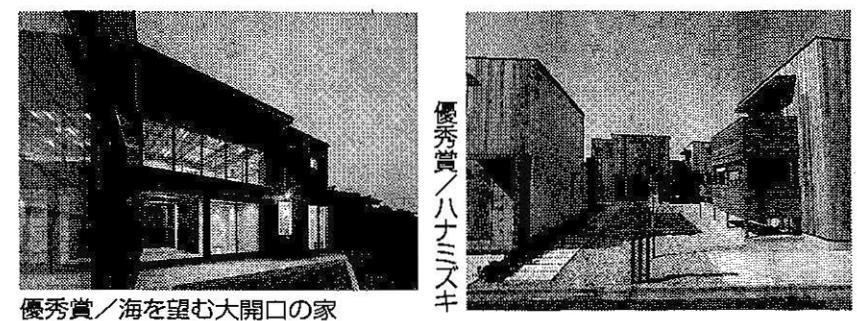
★第58回★ 神奈川建築コンクール



優秀賞／相模原市緑区合同庁舎



優秀賞／荏原製作所 藤沢事業所 本館



魅力あるまちへ起爆剤

最優秀賞 マークイズみなとみらい

一般建築物部門



アイデア生かし快適に

最優秀賞 360°

住宅部門



神奈川の建築文化と建築技術の向上を図り、魅力あるまちづくりを推進する「神奈川建築コンクール」の入賞作品が10月30日までに決まった。県と横浜市など12市の主催、神奈川新聞社などの後援で、県内の優れた建築物を表彰するもので、今年で58回目。一般建築物部門、住宅部門合わせて104件の応募があつた。表彰式が12日、横浜市中区の市開港記念会館で行われるほか、28日まで県庁新庁舎1階ロビーにパネル展示される。